

会 議 録

会議の名称	平成29年 第1回小牧市町名等整理審議会				
開催日時	平成29年3月27日（月）午後3時00分から午後4時00分まで				
開催場所	小牧市役所本庁舎 404会議室				
出席者及び 欠席者	<p>○出席者</p> <p>【委員】（名簿順）</p> <p>船引 嘉明 市議会議員 加藤 晶子 市議会議員 佐藤 大輔 市議会議員 船橋 厚 市議会議員 高木 久幸 日本郵便株式会社 小牧郵便局 郵便部部長 （日本郵便株式会社 小牧郵便局長 石原 鉄男の代理） 小柳 松夫 小牧市区長会連合会長 横井 徳明 味岡地区会長 鳥居 拓弥 小牧南地区会長 大塚 俊幸 中部大学人文学部歴史地理学科教授・都市計画審議会会長 沖本 一治 小牧市固定資産評価委員 渡辺 学 都市建設部 都市整備担当部長</p> <p>【事務局】</p> <p>伊木市長公室長、山本市長公室次長、宮下協働推進課主幹、大塚市民協働係長、高橋</p> <p>○欠席者</p> <p>【委員】</p> <p>高橋 佳孝 名古屋法務局春日井市局長 正門 武彦 小牧地区会長 長尾 英俊 小牧市選挙管理委員会委員長</p>				
傍聴の可否	■可 □否	傍聴定員	5名	傍聴人数	0名
配布資料	<p>次第</p> <p>資料1 小牧市町名等整理審議会条例 資料2 小牧市町名等整理審議会委員名簿 資料3 町名設定範囲（案）と区割図 資料4 町界（案）と区割図 資料5 小松寺地区町名設定スケジュール（予定） 町名町界及び地番整理のあらまし</p>				

問 合 せ 先	小牧市 市長公室 協働推進課 市民協働係 電 話 番 号 (0568) 76-1629 (直通) ファックス番号 (0568) 75-5714
---------	---

会 議 内 容
<p>1. 開会～4. 会長・副会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長公室長よりあいさつ ・委員よりあいさつ ・会長副会長の選任について 小柳委員より会長に中部大学教授 大塚委員、副会長に市議会議員 加藤委員との指名推薦があり、満場一致により選任された。 <p>5. 議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議公開について 会議の「公開」「非公開」について審議→「公開」で実施 <p>6. 報告事項</p> <p>(1) 小松寺地区町名設定の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、資料3、資料4を用いて説明。 平成28年2月より、関係区長、副区长（小松寺区、小松寺団地区、久保区、文津区、岩崎東区の5区）、小松寺土地区画整理審議会会長、副会長からなる町名設定検討会において、地元の意見を確認しながら町名、町界、丁目界（案）について検討をしている。岩崎東区については該当範囲に居住している4世帯からどういった町名でも構わないと了解をもらったため、それ以降は残りの4区長、副区长、小松寺土地区画整理審議会会長、副会長と検討を進めてきた。 資料3のピンク色に着色した部分は区画整理事業の範囲、青色は区画整理範囲外であるが、地元の意向も確認した上で、合わせて町名設定を行うことで効果的な町名設定が行えると考えた地域である。 資料4は今回の町界の案。町名町界及び地番整理のあらましの2ページに【新しい町（丁目）の境界は、現在の大字（町）界をできるだけ尊重して、できる限り公道、河川、水路、鉄道等、恒久的な施設をもってこれにあてるものとします】とある。その原則に従い、できる限り現在の大字界、行政界を尊重し、なおかつ恒久的な施設を町界とすることとし、町名設定検討会で7回にわたり検討を重ね、作成した案である。 <p>(小柳委員) 資料4のGについては区画整理区域か。 (事務局) 区画整理区域内であり、文津区の部分である。Gのみでは範囲が狭いと思われるかもしれないが、現在文津の区画整理事業を施工中である。将来その地域と一体的に</p>

考え、先行して文津に関連する町名設定を行おうとするものである。

(船引委員)

今回の町名設定により既存の地名が無くなるものはあるか。

(事務局)

現在の大字名を大事にしたいという地元の意向も聞いている。現在の大字名に関係した町名で進めようと考えている。

(船引委員)

地元の意見も聞きながら進めるということでもいいか。

(事務局)

関係区長、副区長、小松寺土地区画整理審議会委員長、副会長からなる検討会にて意見交換を行って進めている。

(横井委員)

自分も文津区長として検討会に参加していた。文津区は D と E で町界が分かれる。以前、学校区でも味岡小学校区と本庄小学校区に分かれた地域である。市の原理原則で公共物を町界とすることなので、現在の大字名の方がいいが、仕方なく受け入れるという住民の意見もある。

(小柳委員)

29年30年のスケジュールの中で進めていき、様々な意見も集約して進めていくことだと思うので、的確に行っていただければいいと考える。

(事務局)

今回の町名設定については、地区の付き合いである行政区、また学校区については変更しない方向で進めている。

(大塚会長)

横井委員の発言は町名は変わるが、行政区、学校区については変更はないので、日常生活に不都合は生じないと思うが、心情的な部分の話か。

(横井委員)

そうである。

(加藤副会長)

住民の方が納得されることが重要だと思う。全員が納得することは難しいと思うため、より多くの方が納得する意見となると思うが、数件であってもその意見も聞きながら進めてほしい。D と G のところは入り組んでいるが、この案の町界とすることに多くの意見があったということか。

(事務局)

地元の意見はどうだったかということであるが、現在の大字名と異なる町名となる人への対応についてだが、全ての人と調整ができた訳ではないが、区長方と調整する中で、確認の案内をいただいた人には市の考え、今回の案を説明し理解いただいたところである。

(船引委員)

確認だが、現在の大字名とは違う町名になっても現在の付き合いのままということでもいいか。

(事務局)

付き合いについては変更ない。

(大塚会長)

付き合いについては変わらないので、郵便物などが届く際に今までの住所と違う住所で届くということくらいの違いと理解していいか。郵便局としてはどうか。

(高木代理)

郵便物に関しては、町名設定を行っても、あらましにもあるが一定期間は前の住所でも届く。建物自体は動かないので配達には問題ない。

(大塚会長)

DとGの町界について、資料4を見ると入り組んでいるように見えるが、道路などを町界としているため、この道路よりこちらは小松寺、こちらは文津というように外部の人にも分かりやすくなる。この道路の3軒目の家からこちらは小松寺、4軒目からこちらは文津というより、道路など地形地物で分けることにより分かりやすく生活できるのではないかという意図だと考える。

今回は進捗状況の報告なので、地元の意見を聞きながら検討を進めているということとを我々委員は伺っておき、次回審議という流れになるということである。

(2) 小松寺地区町名設定の今後のスケジュールについて

・事務局より資料5を用いて説明。

平成29年度4月に新たな区長に町名設定検討会でまとめた町名設定の範囲・新町名・町界・丁目界の案について報告。その後、5、6月に住民説明会を開催。住民説明会の方法は、地元の会館に協働推進課の職員が土日も含め数日間常駐し、その中で、住民の方が都合のいい日時に来館し、質問や相談に応じられる体制をとり、キメ細やかな対応が取れるよう行う予定。7月に関係区長と確認書の取り交わしを行う。確認書の内容は、【新町名・町界・丁目界を変更するが、行政区、学校区については従来のとおりとする】いうものであり、関係区長、市長が押印を取り交わし、それぞれ1部ずつ保管することとなる。8月に町名等整理審議会を行う。市長から諮問を行い、答申をしてもらう。12月に市議会へ提出、議決を得て、正式に町名設定の範囲・新町名・町界・丁目界の決定となる。平成30年度7月に新地番を決定。9月に新しい住所などを関係者あてに送付し、10月下旬に町名設定を施行する予定である。

(大塚会長)

事務局からの説明のとおりかなり細かく色々なことを経ながら進めていく、それだけ今回の町名の整理が重要な案件であるということだと思う。

委員からの質問なし。

7. その他

(事務局)

次回審議会は8月を予定。時期が近づいたら日程の詳細を調整し、あらためて文書で案内を行う。

8. 閉会